

第 624 回 月例会レポート

場所:舞鶴市白杉 一本松渡船
天候:晴れ

平成 28 年 8 月 6 日(土)
作成者: 西山

今年は未だチヌの顔を見ていないので今回は何としても釣りたいと思っていました。それに今回は白杉の一本松、過去、2 度の釣行で私にとってハズレなしの場所だった為、いつも以上に気合が入っていました。今回も一人で舞鶴へ行き途中のウスイでエサ購入し、秋山氏といつもの舞鶴のローソンで待ち合わせし、既に松元会長も合流しており皆で、白杉へ向かいました。現場には石川氏、金物氏が到着しており 5 名が集合、筏 3 台予約しており明け方、クジ引きで 1 番西山、5 番金物氏とジャンケンし、私が勝った為一人で筏に乗る事ができました。かえってプレッシャーでしたが自分で釣れる釣れると自身に言い聞かせていました。松元会長と秋山氏、石川氏と金物氏、私一人で釣り開始、一投目シラサで落とし込むも綺麗に戻ってくる、オキアミを付けるとこれも元気に上がってくる、上がってくる途中で穂先が揺れる、ん？アジか？と思っていたら本当にアジだった。松元会長から”前回みたいにアジ釣りするなよ～チヌ釣れへんど～”と言われましたが、チヌ釣れなかったら又、アジ釣りに専念しよう、その方がお母ちゃんも喜ぶな、、、と思っていた矢先底トントンでじっと待っていた所、穂先が段々と沈んで行くのが判りました何やる？と思い穂先だけ付いていき海中に付いた所で合わせると乗りました、いつものアジの引きじゃないな？と思いながら巻いて行くと久々の銀色した魚が上がってきました。引きの強さは有りませんでした。間違はなくチヌです、久々の、、でも今迄のアタリなら前アタリの後、抑え込むアタリとイメージしていましたが、前アタリも無く、この様なアタリもあるのだなと勉強になりました。奥の筏の松元会長から”チヌ小さいけど釣れたで～”と流石です。負けじと手返し手返しを繰り返して団子にオキアミ付けエサにし、穂先が沈んで行く事に集中していると、また穂先が少しづつ沈んで行くので穂先付いて行き合わせると小ぶりの 28cm のチヌでした。今回の釣行で色々なアタリがあるんだなと勉強になりましたこの調子で次回も優勝目指してがんばりたいと思います！

<長寸優勝> 松元会長 (29cm)

<長寸二位> 西山 (24cm、28cm)

<参加者> 松元会長、秋山氏、石川氏、金物氏、西山